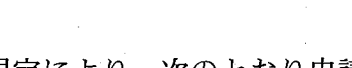


令和 7 年 2 月 3 日

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 
団体名 発達ゆっくりさんの親子サークル
ひよこっこ
代表者氏名 池永 
電話 
担当者名 
担当者連絡先 

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 遊びと交流の居場所づくり ～障がい児の社会参加を目指して～

2. 事業の概要

当サークルでは、感覚統合など運動療育や映画（動画）鑑賞、絵画制作、お泊り会などの活動をしています。また不定期で大分市主催のインクルーシブ遊具体験会やフェスタへの参加、ときめき作品展への合作出展、保護者同士の勉強会や情報共有等を行っています。また医療系学生ボランティアの受け入れを行っており、未来の支援者と保護者の交流の機会を作っています。発達障がいとは子どものわがままでも親のしつけの影響でもありません。保護者、支援者だけでなく地域の方々に障がいを正しく理解してもらうことで、子どもたちを取り巻く環境がよい方向に変わると思います。少しでも子どもたちが生きやすい世の中になることを目的に活動しています。

3. 事業費 50,000 円

4. 交付申請額 50,000 円

5. 概算交付 ☐ 概算交付を希望する。
☒ 概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類
- (1) 団体調書（様式1-1、1-2）
 - (2) 事業計画書（様式2）
 - (3) 収支予算書（様式3）
 - (4) 団体要件・事業要件確認シート（様式4）
 - (5) 誓約書（様式5）
 - (6) 規約、会則、定款等の写し
 - (7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
- (ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) はったつゆっくりさんのおやこさーくる ひよこっこ 発達ゆっくりさんの親子サークル ひよこっこ				
住所					
代表者氏名	(ふりがな) いけなが 池永	FAX (団体)			
電話 (団体)			E-mail (団体)		
設立年月日	令和6年3月21日	ホームページ	有 ・ 無	団体構成員数	66 人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	13	その他の 分野	1 2 6 10	
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	障がいのある子もない子も誰もが楽しめる活動。 障がいのある子たちが、遊びの中で自分自身を表現し、安心して人とのコミュニケーションをとることができる関係づくり。 様々な経験を重ねることで成功体験を増やし、自分の強みを見つける。 遊びの中で子どもの特性を理解し、保護者が環境設定や子どもへの肯定的な働きかけを学ぶ。				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数	
	令和6年	ひよこっこ (交流・療育・情報共有)	38 回	353 名	
	令和6年	お泊り会	2 回	23 名	
	令和6年	ときめき作品展 (合作)	1 回	12 名	
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助 (委託) 元	補助事業名	金額	

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1%応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
遊びと交流の居場所づくり ～障がい児の社会参加を目指して～	①ひよこっこ ②お泊り会 ③子育て勉強会 ④ときめき作品展への出展	①月1回 ②年3回 (4月9月 11月) ③年2回 (9月) ④年1回 (11月)	大分市内 あすぴあ 大分・公 民館等	①1回6名× 月1回×12 回=72名 ②10名×3 回=30名 ③10名×2= 40名 ④10名 参加者 152名	①月1回 ×12=12 回 ②3回 ③2回 ④1回 合計 18回	50
小 計					18 (a)	50 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
会員交流事業	交流・情報共有	年2回	大分市内	20	2	0
小 計					2 (b)	0 (d)

合 計	(a) + (b) 20	(c) + (d) 50
-----	-----------------	-----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b) 90% (A)	(c) / (c) + (d) 100% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 ※小数点以下は四捨五入してください。	95%	

事業計画書

事業名	遊びと交流の居場所づくり ～障がい児の社会参加を目指して～	
事業内容	主な対象者	乳幼児、小学生、中学生、高校生、成人(医療系学生)、保護者
	内容	目に見えない障がいにより、外出先で心無い言葉をかけられたり周囲の冷たい視線を感じる事が多い子どもたちとその家族。子育て世代がよく利用する子どもルームや児童館、ショッピングモールに行くのも一苦労です。子どもたちの「みんなと思いきり遊びたい」「お友だちと一緒に過ごしたい」といった願いを叶えるために活動しています。活動時間内は子どもたちが「これはダメ」「やめて」と言われずにのびのび過ごせるように、環境設定や合理的配慮を行っています。発達特性や診断名などデリケートな部分があるため、口コミで会員募集し、子どもファーストで活動に参加してもらうため、予約不要、活動時間内は自由に入退室できます。言語聴覚士、保育士が在籍しており、療育的な視点から支援ができます。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月) 4月 9月 11月	内容 日曜・祝日、月1回あすびあ大分等でひよこっこを開催 お泊り会 障がいがある子の人との関わりや身辺自立を支援 子育て勉強会、お泊り会 ときめき作品展、お泊り会
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☐ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook 等の SNS ☐ その他(具体的に) 参加者からの口コミ、Instagram の活用 あすびあ大分にチラシを設置	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	有資格者による子育て勉強会を実施し、寄付金を募る。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	発達障がい理解ある大人が少ないと日々感じています。「危ないからダメ」「周りが真似するからやめて」「コラ!」、これらの声かけでは子どもは成長できません。大人の目を盗んで始めます。問題行動をその子の課題と捉えるのではなく、どうしてやりたかったのか理由を考え、周りとの折り合いを考えながら支援(誘導や環境設定)する。障がいのある子が生きやすい社会、それは障がいのない子にとっても誰もが生きやすい社会です。保護者や周りの支援者、地域の方々に特性理解を促すことで、子どもが一方的に「ダメ!やめて」と言われなくなり、保護者が一方的に「しつけができてない」と責められることがなくなり、誰もが社会参加しやすくなるように活動していきます。子育て勉強会を実施することで広く市民に周知し、障がいを正しく理解してもらえと思っています。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☒ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☐ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名： 発達ゆっくりさんの親子サークル ひよこっこ

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補 助 金 収 入	50,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入	0	
事 業 収 入	0	
寄 附 金 収 入	0	
そ の 他	0	
合 計	50,000	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	0	
旅 費	0	
消 耗 品 費	21,000	事務用品、清掃用具、療育支援用具
燃 料 費	0	
食 糧 費	0	
印 刷 製 本 費	5,000	チラシ印刷代
通 信 運 搬 費	0	
広 告 料	0	
保 険 料	0	
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	0	
原 材 料 費	24,000	料理体験 食材費 200 円×30 人×4 回(お泊り会、ひよこっこ)
備 品 購 入 費	0	
合 計	50,000	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。